

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第8週（2月21日～2月27日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 減少傾向続く」

第8週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は592例であり、前週比7.1%減であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.43、0.17、0.16、0.09、0.07である。

感染性胃腸炎は前週比6%減の478例で、中河内3.75、南河内3.38、大阪市北部3.14、大阪市南部2.58、泉州2.40であった。

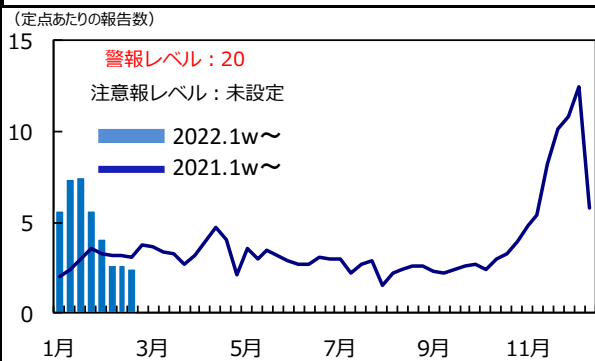
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は27%増の33例で、大阪市南部0.58、中河内0.40、大阪市北部0.29である。

RSウイルス感染症は48%増の31例で、大阪市西部0.90、三島・南河内0.38であった。

咽頭結膜熱は7%減の14例で、大阪市北部0.36、三島0.19、堺市0.11である。

第5週以降、小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計が1,000例未満という状況が続いている。

感染性胃腸炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

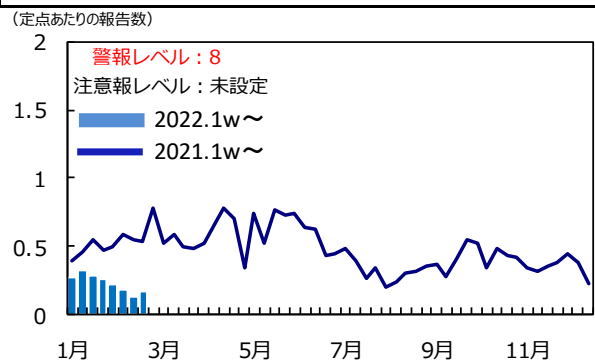


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第8週2月21日～2月27日）

第8週の順位	第7週の順位	感染症	2022年 第8週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2021年 第8週の 定点あたり 報告数	2022年第8週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.43	6%減	3.07	2歳_14%
2	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.17	27%増	0.54	5歳_21%
3	4	RSウイルス感染症	0.16	48%増	0.76	2歳_32%
4	2	突発性発しん	0.09	59%減	0.28	1歳_56%
5	5	咽頭結膜熱	0.07	7%減	0.13	2歳_43%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00		0.02	10-14歳(1例)_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第8週のコメント

～梅毒～ 大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期より多く、
全国でも2020年5,784例、2021年7,873例と増加している

全数把握感染症

梅毒

国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にあったが、大阪府における2021年の報告数は、2年連続で1,000例を下回った。

梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[梅毒とは\(国立感染症研究所\)](#)

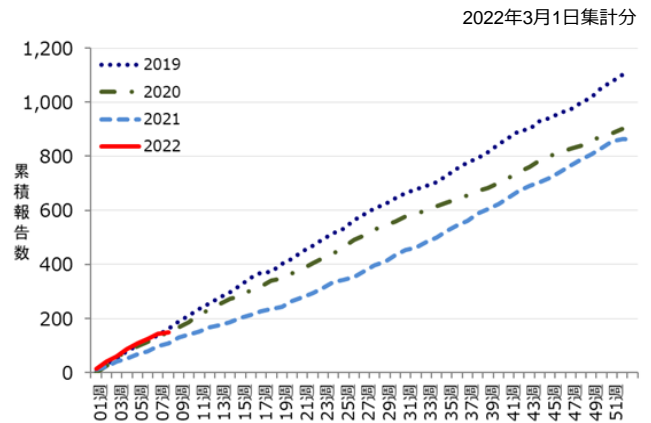


表2. 大阪府全数報告数（2022年 第8週2月21日～2月27日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内								報告数	府内累積
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市		
3類感染症	細菌性赤痢	1								1		1
	腸管出血性大腸菌感染症	1								1		2
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1								15
	後天性免疫不全症候群	1			1							9
	梅毒	4					1		1	2		148
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	58,417	2020年1月以降累計								642,552	
結核 (2021年12月分)	結核 新登録患者数：104名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 33名) (府内累積報告数 1,178名、内 肺・喀痰塗抹陽性 449名)											

(2022年3月1日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。](#)